

八戸市文化協会会長賞

おじいちゃんとの草取り

白鷗小学校 六年 田中 麗衣

「草取りするから手伝って。」  
と、時々おじいちゃんは私に言う。正直えつ、めんどくさいなと思うけれど、庭に出ておじいちゃんと一緒に草取りをする。おじいちゃんは草取りが上手だ。細かい草までいいねいに取る。最初はめんどろだなあと思っていたけれど、草が無くなった庭は、いつもより花がきれいに見えて、草取りをして良かったなあと思う。おじいちゃんもここにこしていて、うれしそうな顔になっている。

私は、学校でいろいろな植物を育ててきた。一年生はアサガオ。二年生は野菜。三年生はヒマワリ。四年生はヘチマ。五年生はジャガイモ。六年生はホウセンカとジャガイモ。きれいな花がさいたり、大きな実がなったりしたときはとてもうれしかった。去年は大きなジャガイモをみんなでほった。手にいっぱい土がついて大変だったけれど、楽しかった。畑には、みんなの笑顔があふれていた。

おじいちゃんの笑顔、みんなの笑顔……。花や野菜など植物には、みんなを笑顔にする力があるのかなあと私は思った。そう思っ、三階の教室から校庭をながめてみると、私たちの校庭は、桜、ポプラ、アカシヤなどたくさん木の

に囲まれている。暑い夏は、この木の木かげは大人気だ。みんなここでずんずんんでいる。秋になると、桜の葉はきれいに赤く色づく。落ち葉をふむとザクザク音がする。この遊びはとも楽しい。大きな木で囲まれた校庭で、私もみんなも、毎日笑顔で遊んでいる。校庭はみんなのお気に入りの場所だ。

学校の玄関前には、大きな花だんがある。黄色のマリーゴールド、赤いサルビア、白色のベコニア。色とりどりの花が、毎朝全校のみんなをむかえてくれる。朝の玄関にも笑顔があふれている。やっぱり、植物にはみんなを笑顔にする力があるんだと私は思った。

今まで、水やりや草取りなどめんどろだなど思っていたけれど、自分が笑顔になる、みんなが笑顔になると思うと、不思議とがんばる力がわいてきた。

いつものように校庭に遊びに行くとき、玄関前の花だんに草が見えた。ちよつとだけ草取りをしてから、遊びに行こうと私は草取りを始めた。すると、友だちが手伝ってくれた。おしゃべりをしながらの草取りは楽しかった。気が付くと、色とりどりの花だんの中で、私たちの笑顔の花も咲いていた。

おじいちゃんのおかげで、私は、植物がもつ力が気が付くことができた。だから、今度は私から、

「おじいちゃん、草取りするね。」  
と声をかけ、おじいちゃんにサプライズしてみ

ようと思う。おじいちゃんのおどろいた顔、うれしそうな顔を想像するとわくわくしてくる。おじいちゃんの笑顔の花が咲くのが今から楽しみだ。サプライズが成功するといいな。